

■ 広報(5月1日号)の記事に関する意見まとめ

No.	日付	お住まい	年齢性別	意見	手法
1	4月26日	中山町	60代女性	現存していない史跡について復原するための史跡指定には反対。そんなにお金を落としていかない観光客を増やすために税金を使うのではなく、市民の生活のために税金を使って欲しい。	電話
2	4月29日	上野新町	60代男性	老朽福祉会館の処置について述べさせていただきます。 1. 犬山城の城郭は後世に残していくべきものであり、その維持についての手段は大規模修繕であっても既存の素材を半数以上を活用できる範囲であり、名古屋城や熊本城のような再建築では単に観光集客施設となってしまう、歴史的価値は無いと考えます。 2. 福祉会館については解体更地化すべきと考えます。理由として、観光客の急増している現状から、市民活動の拠点として利用するには車での進入が平日でも大変で、城下町として整備された今では適地ではありません。 3. 更地化するに当たっては地下の遺構をきっちりと学術調査して記録に残すか、展示の価値があれば、そのような整備をしては如何でしょうか。又 跡地はイベント広場的な空地でも十分と思います。 4. 福祉会館の機能の代替について、地域活動の拠点としては少子化による北小学校の余剰教室等の活用はできないのでしょうか。	メール
3	5月10日	橋爪東	—	1. 武家屋敷風の造りで二階建で造る。 2. 設計から施工まで犬山の事業者でやる。 3. 江南のスイートピアのように運営を民間に委託する。 4. 観光・地場産業・農産物など地元を紹介する。 5. 町おこしの拠点として犬山の魅力を逆転の発想でイベントやサークル活動などで活気ある施設にする。 6. 無料休憩処として気軽に入れる工夫をする。 五月の連休もずっと考えていました。まだまだ提案があるけどまだ先の話なので、一件でも採用されれば幸いです。	郵便
4	5月14日	—	—	現施設は、撤去し発掘調査後、景観にマッチした建物を新たに建てるのが良いと思います。	メール